

平成24年11月15日  
東海旅客鉄道株式会社

## 武豊線への集中旅客サービスシステムの導入について

名古屋都市圏での通勤・通学輸送等を担っている武豊線（大府駅～武豊駅間）では、現在、輸送サービスの向上を図るため電化工事を進めています。このたび、ご利用状況にあわせた効率的な体制とし、利便性をさらに高めるために、集中旅客サービスシステムを導入します。

### 1. 集中旅客サービスシステムの概要

- ・現在、終日または一部の時間帯に駅係員がいない以下の駅に、自動改札機等の設備を導入します。
- ・新しく遠隔案内センターを設置し、常駐するオペレーターがお客様からのご質問にお答えします。

対象駅：緒川駅、東浦駅、亀崎駅、乙川駅、東成岩駅、武豊駅（計6駅）  
★今回のシステム導入にあわせ半田駅のみを駅係員配置駅とし、上記6駅への現地出動拠点とします。

導入設備：インターホン、券面確認台、自動改札機、システムに対応した券売機

※システムの導入により、従来、駅係員不在時にサービスを停止していた、きっぷの購入・精算・ICカードへのチャージなどを、列車の運行する全ての時間帯で行えるようになります。

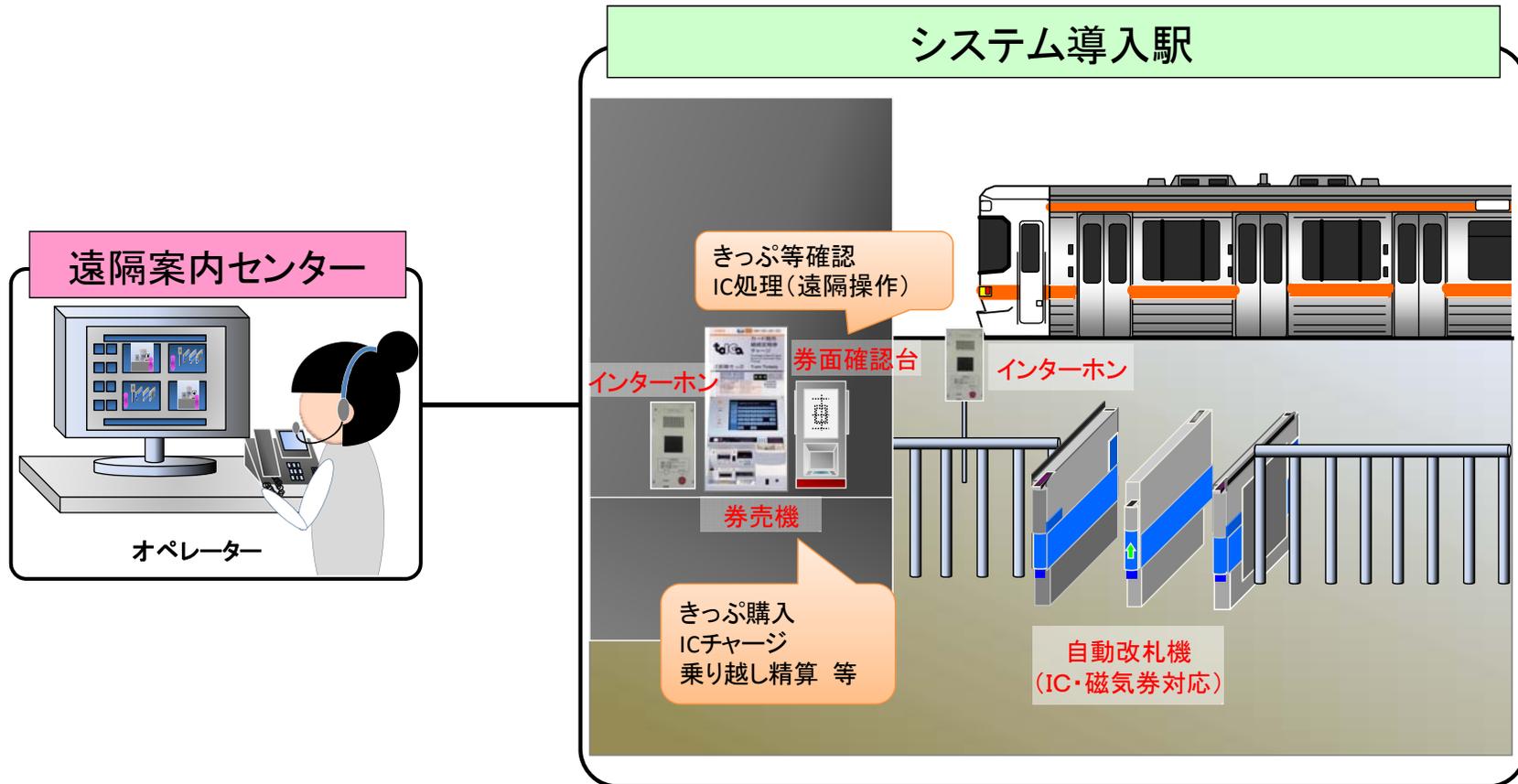
### 2. 工事スケジュール

平成25年春 工事着手  
平成25年秋 システム使用開始

### 3. 工事費

約3.4億円

集中旅客サービスシステム



- ※ きっぷの精算が必要な場合や自動改札機に対応していないきっぷをお持ちの場合等は、インターホンを通してオペレーターがご案内します。
- ※ きっぷの詰まり等のトラブルが発生した場合には、半田駅の駅係員が現地に出向き対応します。